

## 「数学」（数学）学習指導案

1. 日時 令和6年10月10日（木） 第2時限（9：45～10：25）

2. 場所 中学部 教室

3. 学部・学年・組 中学部

4. 単元（題材）名 「表やグラフに整理しよう」

5. 単元（題材）目標

本単元は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領〔算数〕の「小学部3段階」「D データの活用」を基に実施している。

- ・具体物の数量を簡単な表やグラフに表す方法を理解している（知識及び技能）。
- ・表した表やグラフを基に比較し、数量の大小や順位を考えている（思考力、判断力、表現力）
- ・数量を表やグラフで表すことに関心を持ち、進んで学習に取り組もうとしている（学びに向かう力、人間性等）

6. 児童生徒観

本グループは、特別支援学校学習指導要領における学習段階は小学部3段階であり、一斉指導で教員の指示を理解できる生徒が多いが、指示内容によっては個別の言葉かけや対応が必要な生徒、長期に渡り欠席している生徒も在籍している。授業における発言や発表は多くないが、集中力を保って学習活動にも前向きかつ意欲的に取り組んでいる。

数学の学習に関する実態では、20までの数の加法・減法等、計算問題にはスムーズに取り組んでいる一方で、計算式が表す意味や文章問題への理解は十分ではない。加えて、学習経験や理解力について生徒間で差が大きいことから、授業を展開する際には内容や提示の仕方、学習課題等に配慮が必要である。

本単元では、様々なデータを見て各具体物の数量を表に記入したり、グラフとして表したりする活動を取り扱う。本時までの授業において提示された様々なイラストの数を数えて表に個数を記入したり、それらの個数を丸（○）や記号を用いたグラフに表したりする方法を学んでいる。授業では、生徒が関心のあるデータを活用するほか、プレゼンテーションソフトを用いたスライド提示、ホワイトボード、ワークシート等をバランスよく活用して、生徒が主体的に学習に取り組めるように展開したい。そして、学習活動を通して表やグラフでの表し方を理解するとともに、データを整理する際には表やグラフを用いることが効果的であることを知ってもらいたい。

7. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 数量を簡単な表やグラフに表す方法を理解している。	① 具体物の数量を数字や簡単な記号等に置き換えて表現している。	① 表やグラフで表すことに関心を持ち、進んで学習に取り組もうとしている。
② 表やグラフを読み取る力を身につけている。	② 表やグラフを読み取り、数量の大小や順位を考えている。	② 教員の質問に対して積極的に答えようとしている。
③ 表やグラフで表された数量を比較する力を身につけている。	③ 表やグラフから読み取った内容を簡潔に答えている。	③ 表やグラフのよさを知り、生活に活用しようとしている。

8. 単元の指導と評価の計画（全10時間、本時は第8時）

次	時	学習内容・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1   2	<b>「表」について知る</b> ・表の表し方を学ぼう ・表の見方や読み取り方を学ぼう	・モニターとスライドを使ってイラストや具体物の写真等を提示し、表作成のための教材として活用する。 ・表が示す意味や表で表す際のポイントについて確認する。	A, B
	3   4	<b>「表」を活用する</b> ・色々な数量を表に表そう ・表から分かることを発表しよう	・食べ物、乗り物、天気等、生徒にとって身近で興味を持ちやすいデータを用い、生徒が意欲的に表作成に取り組めるよう工夫する。 ・表内に表された数量の大小を比較したり、順位を考えたりするよう言葉かけを行う。	A, B, C
2	5   6	<b>「グラフ」について知る</b> ・グラフの表し方を学ぼう ・グラフの見方や読み取り方を学ぼう	・表で表された内容をグラフにする際の方法について説明する。 ・グラフが示す意味やグラフで表す際のポイントについて確認する。	A, B
	7   8	<b>「グラフ」を活用する</b> ・色々な数量をグラフに表そう ・グラフから分かることを発表しよう	・グラフで表す際の流れや方法について確認しながら活動を進める。 ・グラフを読み取って数量間の大小を比較したり、順位を考えたりするよう言葉かけを行う。	A, B, C
3	9   10	<b>学習のまとめ</b> ・表やグラフで表す「よさ」について考えよう	・表やグラフで表す際のよさやメリットについて考えるよう促す。 ・モニターとスライドを使って表やグラフで表す際のよさやメリットを説明しつつ、本単元で学んだことをまとめていく。	A, C

9. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・各数量を数え、グラフに表すことができる。
- ・作成したグラフを読み取り、数量の大小や順位を考えることができる。
- ・グラフで表すことに関心を持ち、進んで学習に取り組むことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・グラフで表す際の流れに沿って、正確にグラフを作成している。
- ・作成したグラフを読み取り、各数量の大小や順位を考えている。
- ・積極的にグラフの作成に取り組んだり、教員の質問に答えたりしている。

(3) 本時の ICT 活用のポイント（活用のねらい、工夫する点）

- ・モニターとスライドを使って具体物やグラフを視覚的に分かりやすく提示することで、生徒がスムーズに学習に取り組めるよう支援する。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
10分 導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>・出席確認をする。</li> <li>・本日の活動における流れを確認する。</li> <li>・前時の学習内容の確認と振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日直を指名し、挨拶をするように伝える。</li> <li>・本日の活動の流れをホワイトボードに掲示し、視覚的に示すことで、生徒が見通しを持って活動に取り組めるようにする。</li> <li>・前時に学習した内容について、生徒に質問をしながら確認していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードに注目し、学習の見通しを持つことができる。</li> <li>・前時に学習した内容を振り返ることができる。</li> </ul>
25分 展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪メトロ4路線の路線別の駅数を数えてワークシートの表に記入する。</li> <li>・作成した表を基に、大阪メトロ4路線の駅数をグラフに表す。</li> <li>・モニターに提示された路線別のグラフを確認していく。</li> <li>・完成した表やグラフを読み取り、路線間で駅数を比較したり、順位を考えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別の路線図をモニターに提示するとともに、生徒を指名して駅数を数えるように指示する。(ICT)</li> <li>・表内に記入した路線別の駅数を確認しながら、同じ数の「○」をワークシートのグラフエリア内に記入していくよう言葉かけする。</li> <li>・モニターにグラフを提示する際、路線ごとの「○」の数を生徒に質問しながら進めることで、生徒がグラフの高さ(駅数の多少)を意識できるようにする。(ICT)</li> <li>・路線別の駅数が分かりやすいのは「表」で、多少や順位が分かりやすいのは「グラフ」であることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別の駅数を積極的に数えようとしている。(C①②)</li> <li>・数字を簡単な記号に置き換えて表現できる。(B①)</li> <li>・モニターに提示されたグラフに注目している。(C①②)</li> <li>・表やグラフから、駅数の多少や順位を読み取ることができる。(A②③ B②)</li> </ul>
5分 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の振り返りをする。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表とグラフ、それぞれを活用するメリット等について触れながら、本時で学習した内容について振り返る。その際には、モニターを活用しながら進めていく。(ICT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に本時の学習を振り返ろうとしている。(C①②)</li> </ul>